

TOPICS

新年の
ご挨拶

新病院での ポストコロナ医療に向けて



院長 吉田憲正

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2021年は、長引くコロナ禍の困難な医療状況のなかで、医療機関、医師会、行政の皆さまと緊密な連携による情報共有を行い、通常医療とコロナ医療に対応することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

昨年、当院では、形成外科外来を開設して皮膚科や乳腺外科と連携した医療を開始いたしました。一昨年から取り組んでいる循環器内科のアブレーション治療や消化器内科の超音波内視鏡診断・治療も紹介症例数が増加しております。今年4月からは、専門スタッフを迎え、耳鼻咽喉科の入院医療を再開し、新たに脊椎脊髄センター（仮）を開設いたします。

今年は、診療報酬改定の年に当たり、医師等の

働き方改革の推進、かかりつけ医制度、外来医療機能などが評価されるようになり、当院でも日常診療業務の質改善に取り組んでいく予定です。

当院は、多くの方々のご支援により6月1日、39年ぶりに阪急西山天王山駅近くの新病院へ移転します。『京都済生会病院』と名称を新たに、乙訓医療圏で唯一の公的医療機関として、地域の皆さまへのより質の高い医療の提供を目指します。移転前後は、診療体制を少し縮小することになりますが、できる限りご迷惑をおかけしないように職員一同で対応いたします。新病院のコンセプトは、『病院理念を実践し、乙訓地域における急性期医療の基幹的医療機関を担うこと』、『出産から看取りまで地域の医療機関と連携しながら安全・安心な医療・地域包括ケアを提供し続けること』です。少子高齢化が進



全景（2022.1.21.撮影。ペDESTリアンデッキから）



病棟（2022.1.21.撮影）



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会京都府病院

〒617-0814 長岡京市今里南平尾 8 番地

地域医療支援室

TEL 075-956-3825
FAX 075-956-3826

受付時間（原則）：平日 8:45 ~ 19:30（木曜日は 17:00 まで）



展する日本では、医療だけでなく介護、福祉との地域連携がますます重要になってきます。入院前から退院後までの流れをスムーズにするため、患者総合サポートセンターを設置し、担当職員全員で、前方連携、病床管理、入退院支援、患者相談、訪問看護などに取り組んでいきます。



手術室（2022.1.21.撮影）

手術室、救急室、高度治療室（HCU）、血管造影室、透析室、外来化学療法室、内視鏡センター、周産期センター、健診センターなどの拡充に伴い、常勤・非常勤の医療スタッフも増員する予定です。乙訓医師会事務所と休日応急診療所が当院敷地内へ移転されますが、今まで以上にしっかりコミュニケーションを取り、地域医療の発展のために協働できればと思います。長いコロナ禍の中で、多くの会議や講演会などがオンラインで行われています。最近では、オンラインシステムでの情報交換も円滑になったとはいえ、対面に比べるとやや不十分なこともあり、担当職員が効率的なシステム運営に尽力しています。今後もハイブリッド含めて、この開催方法は継続されると思われませんが、今年は、ソーシャルディスタンスを厳守しながら、お互いの表情を感じ取れる対面での会話ができる機会を増やしていければと考えています。れんけいだよりなどの院外広報誌、医師会や地域の方々との交流会や懇談会、京乙訓医療連携フォーラムなどの勉強会を通して、垣根のない交流を深めたいと思います。ポストコロナ医療

時代の『顔の見える対話のある医療連携』を目指し、寅年らしく、自由な発想で悠々と飛翔したいものです。

年始早々第6波に突入したコロナ感染症に対して今まで以上の予防対策を講じ、新病院での診療に切れ目なく移行できるように、職員一同で全力を尽くす所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



天王山登山道より



臨床検査科 技師長 西田仁治

2022年1月より済生会京都府病院 臨床検査科技師長に着任いたしました西田 仁治と申します。

日々変化する医療環境に対応できるよう柔軟な発想を持ち、人材の育成に取り組んで参ります。また、地域医療連携に積極的に参加し、乙訓地域の中核施設として検査内容の充実と、質の高い検査を提供して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉法人
恩賜財団

済生会京都府病院

〒617-0814 長岡京市今里南平尾 8 番地

地域医療支援室

TEL 075-956-3825
FAX 075-956-3826

受付時間（原則）：平日 8:45～19:30（木曜日は 17:00 まで）